



2026年4月10日

(前年同月比: %)			2025年						2026年						通期	
			7月	8月	9月	10月	11月	12月	上期	1月	2月	3月	4月	5月		6月
ト ラ イ ア ル	既 存 店	売上高	101.4	98.3	99.8	101.7	105.5	99.8	101.0	105.6	102.1	100.3			102.6	101.5
		客数	97.5	94.6	95.6	97.8	100.0	97.6	97.1	100.1	99.6	98.7			99.5	97.9
		客単価	104.1	103.9	104.5	104.1	105.5	102.3	104.0	105.5	102.5	101.6			103.1	103.7
	全 店	売上高	111.9	108.1	109.1	110.1	113.7	107.7	110.0	113.4	109.3	107.1			109.8	109.9
		新規出店数	5	1	1	1	5	5	18	0	4	2			6	24
		閉店店舗数	0	0	1	0	1	1	3	0	0	1			1	4
		全店舗数	357	358	358	359	363	367	367	367	371	372			372	372
西 友	全 店	新規出店数	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0			0	1
		閉店店舗数	0	0	1	0	1	0	2	0	1	0			1	3
		業態転換数 (西友⇒トライアル西友)	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0			1	2
		全店舗数	245	245	244	244	244	244	244	244	243	243			243	243

(環境) 当月は日照時間が多く、月平均気温も平年を上回るなど、春の日和に恵まれた1ヵ月でした。休日(土曜日)が前年同月より1日少なく、既存店売上高を約1.4pt押し下げました。
 3月20日～29日に開催した「SU-PAY祭」*が、お客さまのご来店を喚起し、売上高成長を支えました。また、過去最多の単月アプリ会員登録数を記録し、会員基盤の拡大に貢献しました。

(商品) グロスリーは、調味料やカップ麺、PB商品の菓子パン「ミルクフランス」が伸長した一方、ビール類は前年4月の値上げ前の駆け込み需要の反動により減少しました。
 デイリーは、玉子やヨーグルトが寄与しました。青果は柑橘類やアボカドが好調に推移し、鮮魚はPB商品のシュリンプカクテルがお客さまの支持を得ました。
 春の行楽需要を背景に、精肉は焼肉・ステーキ用の牛肉、惣菜はお花見などのイベント用オードブルや名物商品「ロースかつ重」「たっぷり玉子サンド」が売上高をけん引しました。
 生活は、トイレトペーパーやラップ、ポリ袋などの日用消耗品が堅調に推移したものの、前年の高需要の影響をうけ、医薬品類は軟調でした。
 ハードは、釣りやBBQなどのアウトドアレジャー用品や立体シールが貢献しました。ソフトは、アパレルPB商品のメンズトレーナーやカジュアルシャツが好調でした。

(店舗) ・3月度の新規出店: 2店 スーパーセンター: 石和店(山梨県) smart: 西尾一色店(愛知県)
 ・3月度の閉店: 1店 smart: 深谷店(埼玉県) ・3月度の改装リニューアルオープン: 3店

*SU-PAY祭: 例年の感謝祭に代わるイベントとして、期間前半はチャージで5倍、後半はお買い物で5倍+SU-PAYアプリ決済で5倍(最大合計10倍)のポイントを付与するキャンペーン

※ 売上高の前年同月比はPOSデータに基づいた速報値であり、決算数値と異なる可能性があります。

※ 概況コメント欄の天候は、トライアルの店舗が多く所在する福岡県を中心に記載しております。

※ 「グロスリー」は菓子類などの加工食品、「デイリー」は卵や乳製品などの日配品、「フレッシュ」は生鮮四品(青果・精肉・鮮魚・惣菜)、「生活」は日用消耗品などの家庭用品、「ハード」は家電製品などの耐久性商品、「アパレル」は衣料品を示しております。

※ 西友の既存店及び全店売上高の前年同月比は、2026年7月度(2027年6月期)から開示予定です。

※ 2026年1月度より「トライアル西友」(西友からの業態転換店)は、西友の店舗として集計しております。従いまして、業態転換による西友の合計店舗数に増減はありません。